

©よりぞう

その電話、詐欺です

役所やJAの職員を名乗る人からの電話で、医療費・保険料の過払い金や未払いの年金などの還付金があると偽り、口座番号・暗証番号などの重要情報を聞き出して、お客様が知らないうちに勝手にインターネットバンキングを利用開始し、お金をだまし取る犯罪が増えています!

役所やJAの職員が電話で口座番号・暗証番号を聞き出すことは絶対にありません。

口座番号や暗証番号は教えないでください

被害事例



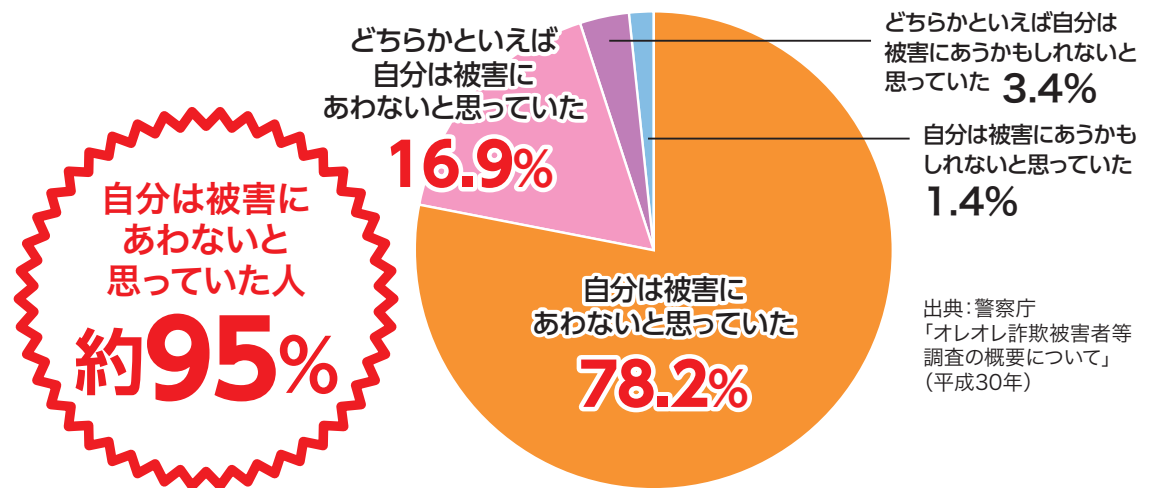
Aさん
(60代・女性)

市役所職員を名乗る人から家に電話がかかってきました。「介護保険料の還付金があります。振り込みますので取引先金融機関名と口座番号、キャッシュカードの暗証番号を教えてください」と言われました。

続けて、「後でJA職員から連絡があります」とも言われ、尋ねられるままにJAバンクの口座番号、キャッシュカードの暗証番号を教えてしまいました。しばらくして実際にJA職員を名乗る人から連絡があり、すっかり信じてしまいました。

ですが、あとで冷静になってみると不安になり、JAに連絡を取りましたが、勝手にインターネットバンキングが利用開始されていて、口座からすでに外部に不正送金されてしまっていました。

被害にあうと思っていましたか?



警察庁の調査によると、オレオレ詐欺にあった被害者のうち「自分は被害にあわないと思っていた」と回答した人の割合は「どちらかといえばあわないと思っていた」を含めると95%を超えています。被害者のほとんどは、自分は詐欺とは無関係と思い込み、被害にあう可能性を低く評価していました。役所やJAなどからの電話であっても自分は大丈夫と過信せず、一旦電話を切ってから家族や周りの人に相談し、役所やJAに直接確認しましょう。



対策のポイント

電話でお金の話が出たら、まず詐欺を疑いましょう。

- 役所やJAが電話で**口座番号**や**キャッシュカードの暗証番号**を聞くことは**絶対にありません**。
- 公的機関の名前を出されても**一度電話を切り、直接問い合わせ**てください。
- **留守番電話機能**を常に設定しておいたり、通話の録音や防犯機能の付いた**迷惑電話防止機器**を利用したりするのも効果的です。

∥ JAバンクは被害防止に向けて店舗での「声掛けの徹底」に取り組んでいます ∥

ATM付近で携帯電話を利用している方や、窓口で多額の資金を引き出そうとしている方へは、資金のご利用目的などをお伺いすることがございます。何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。